

日本学術会議・土木工学・建築学委員会・環境学委員会合同  
低炭素・健康社会の実現への道筋と生活様式・消費者行動分科会  
(第23期・第9回)

議事録

1. 日時：平成29年2月10日（金）15:00-17:00
2. 会場：日本学術会議 5階 5-A(2)会議室
3. 出席者：浅見泰司、伊香賀俊治、仙田満、柏木孝夫、小玉祐一郎、吉野博、林良嗣、福井秀夫、梅干野晁、中上英俊、花木啓祐（オブザーバー）、田辺新一（記録）  
欠席者：加藤信介、南一誠、村上周三、森本章倫、坂井文、高田光雄、米田雅子
4. 配布資料：
  - 9-1 議事次第
  - 9-2 前回分科会 11/1 議事録案
  - 9-3 提言案改訂版
  - 9-4 今後のスケジュール
  - 9-5 提言フォーマット
  - 9-6 提言等の提出チェックシート
  - 9-7 シンポジウム企画書
  - 9-8 本文追加資料
5. 議題：
  - 5.1 前回議事録の確認
    - ・承認された。
  - 5.2 事務局担当の移動
    - ・事務局鈴木様の移動にともない石尾様に交代した。
  - 5.3 これまでの経緯
    - ・幹事会を2回程度開催した。分科会内部査読として米田委員、加藤委員に査読をお願いした。
  - 5.4 今後のスケジュール
    - ・スケジュールの説明が資料9-4に従って行われた。
  - 5.5 提言案の説明と議論
    - 1) 要旨：要旨が読み上げられ議論が行われた。
      - ・3頁：COP21では低炭素から脱炭素という言葉を使用している（中上）
      - ・英語も変わっている→今回の提言でも変更する de-carbonization
    - 2) 目次：承認された
    - 3) 「1. 提言の背景と目的」
      - ・東アジア、東南アジアに関してはアジアに統一する
    - 4) 「2. 低炭素・健康社会の実現を目指して」
      - ・8頁38行目：歩車共有空間→事故などがあり、書き方に検討が必要である。

- ・ 8 頁：日本の住宅の断熱性が悪く暖房していない。欧米と比較して経済合理性が低くなる。全館暖房を行っているので断熱改修の効果がある。→中上委員が提案
  - ・ 9 頁：プライバシー、セキュリティの低下に関して
  - ・ 9 頁：自動運転に関して加筆する必要がある
  - ・ 9 頁：海外では **Smart Home** と表現しスマートハウスとは言わない
  - ・ 9 頁 15 行目：環境サービス→福祉サービス
- 5) 「3. 新しいライフスタイルと行動変容の動機づけ」
- ・ どの研究か→米国、英国
  - ・ 子どもの健康、都市の健康性・快適性→参考文献を加える
  - ・ 断熱性の高い可動間仕切りに関しては実例があるか？
- 6) 「4. 成熟社会のための低炭素・健康都市のデザイン」
- ・ 要約部分と微妙な表現が異なるので統一する。
  - ・ 建築線の規制はすでにない→この用語は使用しない方が良い。
  - ・ 15 頁、31 行目：TOD が正確、明朝に統一
- 7) 「5. 住宅・建築の低炭素対策と創エネの加速化」
- ・ 水素ステーション：5 倍→約 2 倍
  - ・ 経産省の燃料電池などの資料がある
  - ・ 稼働率の悪い従来の大規模集中型電源→「大規模集中電源の中で稼働率の悪い」と変更する
  - ・ コジェネレーションからの余剰電力で、家庭用電力の一部を賄うことも十分に→変更
  - ・ 28 行目：パッシブソーラー
  - ・ ZEB、ZEH にネットを付けるかどうか、言葉の定義も修正する
  - ・ 経産省のロードマップ委員会の定義を参照する
- 8) 「6 アジア展開のための革新的戦略」
- ・ 米田先生からの指摘も少なく問題も少ない
- 9) 「7 提言」
- ・ 住まい方（9 頁）に関する事項が提言に出ていないのではないか
  - ・ 戸建から集合住宅へ：子どもと高齢者が集合住宅で生活することが、低炭素に繋がる。超高層ではなく 150 世帯ぐらいの規模の集合住宅が良いのではないか。困難を乗り越えることで良い生活が可能になる。21 頁③、④を一つにまとめて、この部分に住まい方を入れた方が良いのではないか。エネマネに加えて住宅そのものの有り様に関して言及する必要があるのではないか(仙田)。
  - ・ 3 章に関して内容を精査した方が良い
  - ・ 21 頁③、④ エネルギー以外の部分をどのようにまとめるのが良いのか。
  - ・ 2-③：環境省が入っていない、法務省、外務省なども必要ではないか（浅見）
  - ・ 日本学術会議となっているのは、内閣府とする。
  - ・ 国交省と農水省が連携しても良いのではないか。省庁が分断しているので、それを加えてはどうか（梅干野）
  - ・ 福井先生部分：変更案で良い（福井）
- 5) シンポジウムに関して

- ・5月～6月に学術会議講堂で行う。
- ・プログラムの説明があった。
- ・報告者は幹事が担当することになった。
- ・官公庁に関しては課長クラスが良いのではないか。
- ・地方であれば、富山市、総務省、東京都などがある。